

3つのスタンス

子供世代に
ツケを
残さない！
スジを通す！

フェアな
世をつくる！



3つの政策

虐待から命を守る！ 目黒区に児童相談所を設置します！
昨年、目黒区内で起こった痛ましい幼児虐待死事件。その教訓が生かされぬまま、今年もまた千葉県で新たな虐待死事件が起きてしまいました。社会の歪みから来る弱者へのしわ寄せに対して、本来、いち早く対応できるのは管轄と権限の大きすぎる都ではなく、小回りの利く基礎自治体であると考えます。目黒区に児童相談所の権限を移管することで、職員の拡充、専門的人材の育成を目指し、虐待から命を守る仕組みを実現します。

災害から命を守る！ 地域防災の拡充を目指します！
災害大国である我が国の現実として、災害時に電柱が1本倒れただけで、緊急車両（公助）は現場に到達する事ができません。自助努力に加えて、日頃から常に地域全体で防災・減災を心がける取組み（共助）が必要です。電線の地中化を進めると共に、消防団員の募集促進や、地域消火隊の活動強化、町会を主体とした防災体制の更なる拡充を目指します。また、昨夏の大阪北部地震ブロック塀倒壊事故で、小学4年生の学童が犠牲になった教訓から、区は区内の小学校・中学校・児童館ほか、公共施設の耐震補強工事を行いました。ですが区内の通学路には、耐震基準を満たしていない危険箇所が、未だ300か所（H.30年12月現在）も残っています。このような状態を早急に解消するためにも、行政と民間のパイプ役となって積極的に活動します。

民主主義を守る！ 区民が主役の政治を実現させます！
議会と行政の関係は車輪の両軸に例えられます。ですが、現行の議会は本当に行政のチェック機能を果たしているのでしょうか？ 待機児童解消のためとは言え、監査のないまま増える企業型保育園や、地域住民の声を無視したまま進む“旧碑文谷公園事務所跡地”への保育園等併設計画、自然遺産・文化遺産、地域の宝の軽視とも受け取れる自由が丘の「白日荘（オオカミ屋敷）」の区への遺贈拒否など。現行、区民の意思が正しく区政に反映されているとは思えません。一時の行政の都合で目黒100年の大計を誤る訳にはいきません。区民をないがしろにする無責任から区政を取り戻し、区民のための政治を実現させます。

目黒から新しい政策を！

- モリ・カケ問題、厚労省勤労統計不正問題に象徴される、“行政のゆがみ”を防ぐ為、情報開示と公文書保管を徹底します。
- 幼児や高齢者、動物への虐待(死)を許さない。病氣や障害、社会的弱者を守ります。
- プラスチックごみ減少施策と水質汚染対策、更なるリサイクルを推進させます。
- 人口減少に歯止めを！子育てや教育にかかる負担の軽減策を区と都に働きかけます。

岸 大介 連絡先

〒152-0031 目黒区中根 2-11-21 TEL 03-6421-1941 FAX 03-5539-3510
Email info@kishidaisuke.com f @ info.kishidaisuke kishidaisuke



秘書として国会勤務



消防団員として区内を警戒中



敬愛する故ドナルド・キーン先生と



区内にて政治活動中

頒布責任者 / 岸 洋介 目黒区大岡山 1-13-10 印刷者 / スキット (株) 千代田区神田猿樂町 2-4-2 小黑ビル 302号

区民をないがしろにする 無責任と闘う！

区民派 新人無所属 目黒区出身の45歳 消防団所属

岸 大介



私の想い

現代を生きる我々の日常には、ちょっとした社会環境の変化や予期せぬ出来事が発端となり、社会的に孤立し、生活に困窮する事態に陥る可能性が常に潜んでいます。思えば、21世紀になった頃から「自己責任」という言葉が独り歩きしてきた様に思います。その「美名」のもとで、個性が社会に追い詰められるという様相に、私は違和感を禁じえません。本来であれば社会全体で負うべき責任を、「自己責任」の一言で個人に押し付けたのは、そもそも社会や政治の無責任な体質の現れではなかったでしょうか？このような風潮から脱却する事が、今こそ必要なのです。

誰もが安心して暮らせる居場所があり、多様な価値観を認め合える社会へ向かって、深く成熟した地域環境を整えてゆく。それこそが、目黒区の目指すべき姿なのではないかと私は考えます。

岸 大介

証紙貼付

- 1973年 目黒区生まれ ● トキワ松学園小学校卒業 ● 東北芸術工科大学卒業 ● NY市立大学卒業 ● ミコロンビア大学大学院修了 行政学修士 ● 会社員、政党職員、議員秘書 他を経て 2018年 目黒区にて活動中

- 家族：妻 ■ 趣味：社交ダンス、Jazz、四国遍路
- 好きな言葉：「明日、世界が減るとしても今日、君はリンゴの木を植える」 by 開高健

公式WEBサイト

